

第29回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成30年1月16日（火） 県庁4階大ホール		
委員 (委員数：5) (出席数：5)	委員長	中村和之	(富山大学経済学部長)
	委員	伊藤始	(富山県立大学工学部教授)
	委員	大石貴之	(弁護士)
	委員	彼谷環	(富山国際大学子ども育成学部教授)
	委員	前田陽子	(税理士)
次 第	1 開会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 ① 富山県の入札・契約制度について ② 平成29年度上半期の入札・契約方式別発注工事の状況について ③ 平成29年度上半期の一位不動入札、一者入札、入札方式別落札率及び総合評価方式の試行結果について ④ 平成29年度上半期の低入札価格調査制度対象工事の状況、最低制限価格制度対象工事の状況及び指名停止の運用状況等について 3 審議工事の抽出結果の報告 4 抽出事案の審議 5 審議結果の報告 6 閉会		
審議対象期間	平成29年度上半期（同時期に請負契約を締結した工事）		
抽出事案	10件（審議対象工事総件数：834件）		
一般競争入札	3億円以上	1件	(事案1) 一般県道藪田下田子線道路総合交付金（防災・架替）（北の橋）橋梁上部工
	1億円以上	1件	(事案2) 利賀芸術公園雄峰耐震補強等
	2千万円以上	3件	(事案3) 小矢部川流域下水道二上浄化センター主ポンプ機械設備更新 (事案4) 一般国道472号道路総合交付金2号橋下部工A1橋台基礎工 (事案5) 基幹水利施設 小川幹線地区 小川幹線水路補修第3工区
指名競争入札	4件	(事案6) 主要地方道黒部宇奈月線道路総合交付金（防災・防雪）消雪配管 (事案7) 伏木富山港（伏木地区）県単独港湾運河維持修繕万葉ふ頭整地 (事案8) 黒川地区砂防総合交付金（地すべり）緊急改築集水ボーリング工 (事案9) 緊急治山 上百瀬 法面その2	
随意契約	1件	(事案10) 新大長谷第一発電所配電盤改良	
委員からの意見及び質問並びに当該質問に対する回答	意見・質問		回 答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会としての意見	平成29年度上半期における建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われている。		

別 紙

意見・質問	回 答
<p>○事案1の工事について、入札参加資格を「日本国内に日本工業規格（JISA5373）の橋りょう類の認証を受けた工場を有している者」に限定した理由は。</p>	<p>品質確保の観点から、専門業者として元請での実績を有している業者に限定した。</p>
<p>○事案2の工事について、入札参加資格確認の段階では4者から入札参加の申請があったものの、最終的には1者の入札となったが、どのような原因があると考えているか。</p>	<p>入札までに手持ち工事との調整がつかなかったことや、業者で検討した結果、工事箇所までの技術者の通勤費用等の経費の折り合いがつかなかったことが原因ではないかと推察される。</p>
<p>○事案3の工事について、低入札価格調査をどのように行った結果、失格としたのか。</p>	<p>入札者から提出された積算内訳書の積算根拠が明確であるかを確認したが、十分に根拠が確認できなかったため失格とした。</p>
<p>○事案3の工事について、営業所が日本国内にあれば参加できるとしているが、県内に営業所がない業者が1者も参加していないのは何故か。</p>	<p>ポンプ設備更新工事としては規模的に小さな工事であることから、県内に営業所がない業者では利益の確保が困難であったのではないかと推察される。</p>
<p>○事案8の工事について、指名業者の選定はどのように行ったのか。</p>	<p>土木センター管内の業者を選定するとともに、競争性を確保するため、同種工事の実績のある管外業者を施工箇所からの距離を考慮し選定した。</p>
<p>○事案10について、発電所の工事は随意契約が多いように感じる。どのような工事であれば競争入札で業者を決定できるのか。</p>	<p>複雑なプラントの操作、監視制御を司る配電盤の改良は随意契約とせざるを得ないが、一括更新の場合、競争入札としている。</p>